

保健福祉センターからのお知らせ

お知らせ

献血にご協力を

近年献血者は減少傾向にあり、血液不足は深刻となっています。この機会に皆様のご協力をお願いします。

■日時 2月25日(月)午前9時30分～正午、午後1時～4時

■場所 五條市役所

■献血の種類 400ml

■対象者 満16歳～満69歳の人で、体重が男性45kg以上、女性40kg以上の人
(ただし65歳以上の献血者については、60歳から64歳に献血経験のある場合に限りま)

*ヤコブ病に伴い、欧州渡航歴のある場合については、滞在期間により献血ができないことがあります。

■注意 輸血用血液の安全性を高めるため、献血の際本人確認を実施していますので、保険証・運転免許証など本人確認のできるものを持参してください。

■問合先 保健福祉センター成人保健係(内線290)

市民健康セミナー

今回のテーマは、「腰痛」です。“つらい腰痛”の治し方について、五條病院の医師が最新情報をわかりやすくお話しします。

■日時 3月8日(土)午後1時30分～3時

■場所 カルム五條

■テーマ つらい腰痛の治し方

■講師 小川宗広医師(奈良県立五條病院整形外科医長)、理学療法士、整形外科病棟看護師

■申込方法 参加申込が必要です。3月7日(金)までに申し込んでください。

■申込・問合先 保健福祉センター成人保健係(内線290)

カルム五條では、赤ちゃんからお年寄りまですべての市民の皆さんの健康相談を受けつけています。
お気軽にご利用ください。

カルム五條(保健福祉センター)
☎22・4001 内線289,290
FAX22・6585

県立五條病院からのお知らせ

県内で初めてカプセル内視鏡を導入しました

当院では、患者さんの苦痛が少なく、安全な内視鏡検査を求めて、県内で初めて『カプセル内視鏡』を導入しました。

▽カプセル内視鏡とは

超小型カメラを内蔵した長さ26mm、幅11mmのカプセルをビタミン剤のように口から飲み込むだけの内視鏡検査です。カプセルは消化管を通過しながら画像を撮影し、画像を記録装置に転送します。医師はこの画像をもとに小腸の診断を行います。

▽カプセル内視鏡の特徴

従来の小腸検査に比べ苦痛がほとんどなく、約8時間の検査中、病院にいる必要がなく、画像を受信するアンテナや記録装置を腹部・腰部に取り付けた状態で、通常の生活ができます。検査終了後、その状態のまま病院に戻り機械を取り外します。また、検査開始後2時間後からお水、4時間後からは軽い食事を取ることができます。



▽正確な診断

小腸は全長約6mと長く、全消化管の75%を占める、体内で最も長い臓器であり、従来の内視鏡やその他の検査方法では十分な観察ができませんでした。そのため、優れた検査方法の開発が望まれていました。カプセル内視鏡検査は、従来、他の小腸検査では見逃されてきた病変の検出が可能であることを証明しました。特に原因不明の消化管出血例のうち小腸腫瘍が発見された症例は約9%にのぼり、そのうち約半数は悪性腫瘍であったとの報告もありました。一個のカプセルを飲むことで小腸内視鏡検査ができ、原因不明の消化管出血の原因が明らかになり、さらには早期診断、早期治療が可能となる画期的な検査です。

▽カプセル内視鏡は保険適用です

原因不明の消化管出血に伴う小腸疾患の診断を行う場合に保険適用されています。なお、患者さんの自己負担額は、3割負担で約3万円となります。

「過去に検査したが原因を追及できなかった」、「原因不明の下血や貧血が継続する」などでお悩みの患者さんがおられましたら、是非、この機会に当院までご一報ください。

■問合先 奈良県立五條病院 内科 ☎22・1112